



No.4 - 2

平成 28 年度

主要事業の概要

(地方創生戦略 以外)

説明資料

豊岡市 政策調整部 財政課

主 要 事 業 の 概 要 （ 目 次 ）

No.	事 業 名	ページ
1	総合計画策定事業【新規】	6
2	コウノトリ豊岡寄付金推進事業【継続】	7
3	公共施設マネジメント計画の策定【継続】	8
4	地方公会計の整備【新規】 (ハードウェア等の導入、システムの改修)	9
5	臨時福祉給付金の支給【継続】	10
6	防災行政無線整備事業【新規】	11
7	行政区別ハザードマップ作成【新規】	12
8	津波避難場所用鍵ボックス設置【新規】	13
9	地域情報化推進事業【継続】 (移動通信用鉄塔施設整備)	14
10	行政情報化推進事業【継続】	15
11	地域コミュニティのあり方検討事業【継続】	16
12	公民館管理等【新規・継続】 (修繕、備品整備等)	17
13	公民館整備【新規・継続】 (竹野南、三方、国府、清滝)	18
14	公民館整備【継続】 (西気地区)	19
15	子どもの野生復帰事業【継続】	20
16	図書館管理【新規】 (LED化・情報システム端末の充実等)	21
17	日本・モンゴル民族博物館事業【継続】	22
18	植村直己冒険館の自主事業【継続】	23
19	植村直己冒険賞【拡大】	24
20	人権教育推進事業【拡大】	25
21	市立美術館の改修【新規】	26

No.	事業名	ページ
22	永楽館の改修【新規】	27
23	生涯スポーツの振興【拡大】 (日本女子ソフトボール1部リーグ、住民総参加型チャレンジデー2016等)	28
24	日高文化体育館の改修【新規】	29
25	出石野球場の改修【新規】	30
26	円山川運動公園の移転整備【継続】	31
27	乳幼児医療費助成・こども医療費助成の拡充【拡大】	32
28	旧清掃施設の解体撤去【新規・継続】	33
29	北但ごみ処理施設整備【継続】	34
30	LED防犯灯整備補助【拡大】	35
31	豊岡斎場大規模改修事業【継続】	36
32	地域福祉計画の策定【継続】	37
33	障害者計画の策定【新規】	38
34	竹野多目的屋内運動広場改修【新規】	39
35	住宅改造費助成事業【拡大】 (人生80年いきいき住宅助成事業)	40
36	民間老人福祉施設助成事業【継続】	41
37	歩いて暮らすまちづくり構想の推進【継続】	42
38	市立診療所の機材充実等【継続】	43
39	豊岡稽古堂塾の開催【継続】	44
40	ライフスタイルの共同研究【継続】	45
41	但馬地場産業振興センター改修事業補助【新規】	46
42	経済成長戦略の推進【拡大・継続】 (労働力確保支援等)	47
43	経済成長戦略の推進【継続】 (ものづくり支援)	48
44	販路拡大支援事業【継続】	49

No.	事業名	ページ
45	企業誘致の推進【新規・継続】	50
46	地域おこし協力隊の拡充【拡大】	51
47	観光事業の推進【新規・継続】	53
48	山陰海岸ジオパークの推進【新規・継続】	54
49	情報戦略の推進【継続】	55
50	海外戦略の推進【継続】	56
51	玄武洞公園整備事業【拡大】	57
52	有害鳥獣駆除対策【継続】 (鳥獣被害防止緊急対策、シカ緊急捕獲拡大対策等)	59
53	バイオマスタウンの推進【継続】 (ペレットストーブの点検・改良・移設等)	60
54	環境保全型農業直接支払制度【継続】 (冬期湛水、有機農業への支援等)	61
55	コウノトリ育む農法の推進【継続】 (水利権拡充計画等)	62
56	農業用施設の維持管理【新規・継続】 (基幹農道舗装修繕、基幹農道橋耐震化等)	63
57	基盤整備促進事業【新規・継続】 (田鶴野排水機場、ストックマネジメント事業)	64
58	一日市排水機場の改修【新規】	65
59	田結漁港防波堤整備【新規】	66
60	コウノトリ野生復帰推進事業【継続】	67
61	コウノトリ生息地保全対策事業【継続】	68
62	加陽湿地拠点整備事業【継続】	69
63	地籍調査事業【継続】	70
64	日高地域流域現況調査業務【新規】	71
65	道路維持事業【新規・継続】 (大規模舗装修繕、排水施設改良等)	72
66	道路冠水対策事業【継続】	88
67	道路整備事業【新規・継続】 (市単独事業)	92

No.	事業名	ページ
68	道路整備事業【新規・継続】 (補助事業)	102
69	雪害対策事業【継続】 (除雪車両更新、除雪対策支援事業等)	106
70	橋りょう長寿命化事業【継続】	110
71	交通安全施設整備事業【継続】 (路肩カラー舗装、防護柵改良等)	112
72	生活道路排水路整備事業【継続】	115
73	城崎温泉駅待合広場整備【新規】	116
74	バス交通対策【継続】	117
75	公共交通対策【継続】	118
76	公園管理【継続】	119
77	出石城公園整備事業【継続】	120
78	稲葉川土地区画整理事業【継続】	121
79	住宅管理【継続】 (長寿命化改善(塩津3号棟、上山))	122
80	住宅耐震改修の促進【継続】	123
81	要緊急安全確認大規模建築物耐震化助成事業【継続】	124
82	城崎振興局プロジェクトの推進【新規】	125
83	城崎文芸館の改修【新規】	126
84	竹野振興局プロジェクトの推進【新規・継続】	127
85	日高振興局プロジェクトの推進【新規】	128
86	道の駅「神鍋高原」改修【継続】	129
87	出石振興局プロジェクトの推進【新規】	130
88	出石永楽館歌舞伎の開催【継続】	131
89	伝統的建造物群保存地区保存事業【継続】	132
90	但東振興局プロジェクトの推進【新規】	133

No.	事業名	ページ
91	消防本部タンク車の更新【新規】	134
92	学校施設(幼稚園を含む)の改修事業【新規・継続】	135
93	学校施設の整備事業【新規・継続】	136
94	山名氏城跡整備事業【継続】	137
95	学校給食センターの改修、備品設置【継続】	138
96	はばたきプランの推進【継続】	139
97	学校保健安全管理【新規】 (健康診断票の電子化)	140
98	とよおかがんばりタイム事業【拡大】	141
99	放課後児童健全育成事業の推進【拡大】	142
100	すくすくプランの推進【継続】 (運動遊びの推進)	143
101	田鶴野幼稚園増改築整備【継続】	144

No.1	事業名 総合計画策定事業	28年度 予算額	8,148 千円	新規 拡大 継続
------	--------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

新豊岡市誕生後に策定した10年間の総合計画が終期を迎えることから、今後の豊岡市の長期的なまちづくりの方向性やまちの将来像を盛り込んだ第2期豊岡市総合計画を策定する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

総合計画期間と市長任期を連動させ、市長の公約や施策方針を取り込みやすくするとともに、各分野の個別計画との連携をどのように図るかなどを検討し、第2期豊岡市総合計画を策定する。

豊岡市基本構想審議会から、総合計画の構成や基本計画のあり方の答申を受け、市民アンケートやワークショップで意見を聴取し、豊岡の将来像、まちづくりの方向性などを盛り込んだ豊岡市基本構想を策定する。

(2) 事業期間

平成28年度～平成29年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 28年度予算

(1) 予算額

8,148千円

(2) 事業内容

ア 基本構想審議会に係る会議費、事務費

イ 総合計画策定支援業務委託（会議支援、ワークショップ支援、市民アンケート等）

4 全体スケジュール

年度	月	項目	内 容
H28	4～5	審議会答申	総合計画の構成、あり方
		議会提案 アンケート	豊岡市総合計画条例の一部改正（案） まちづくり市民アンケート調査の実施
	7～3	ワークショップ	まちの将来像などを議論
		審議会	基本構想の内容
H29	5	次の市長任期	総合計画に市長の方針を反映
	6	審議会答申	基本構想について
	7	意見聴取	パブリックコメント、まちづくり懇談会、議会報告会
	未定	議会提案	豊岡市総合計画の策定

担当課名【政策調整課】（内線2006）

施策体系番号 6-1-1-6

No.2	事業名	コウノトリ豊岡寄付金推進事業	28年度 予算額	146,919 千円	新規 拡大 継続
------	-----	----------------	-------------	------------	----------------

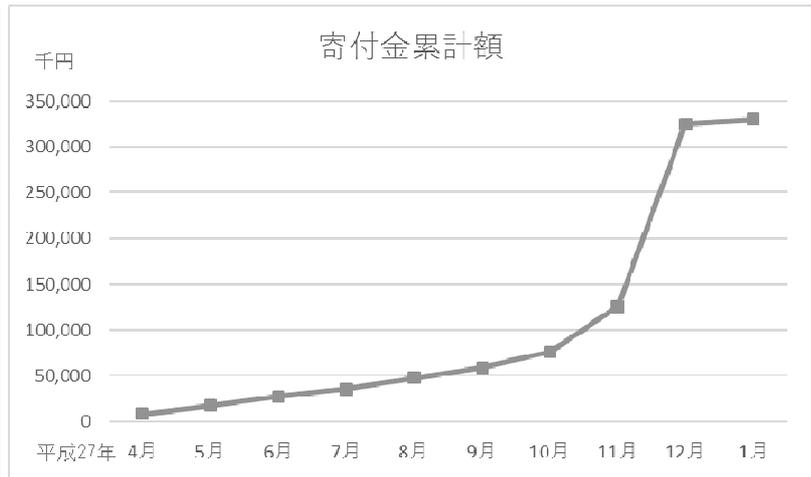
1 事業目的（趣旨）

ふるさと納税の推進により自主財源の確保を図るとともに、本市のPR及び本市特産品等の返礼を通じて市内経済活性化へ寄与する。

2 27年度寄付金実績

（単位：千円）

月別	件数	金額
4月	155	8,667
5月	132	9,396
6月	170	9,452
7月	121	8,388
8月	158	11,770
9月	187	11,070
10月	252	17,664
11月	628	49,435
12月	2,458	198,910
1月	84	5,241
合計	4,345	329,993
(参考)H26	1,176	87,541



3 28年度事業への寄付金活用予定

寄付金は、「小さな世界都市」の実現や地方創生に向けた取組み等に有効に活用する。

(1) 活用予定事業 55事業 307,038千円（充当額）

(2) 主な活用予定事業 (単位：千円)

事業名	予算額	充当額
まちづくり推進事業費（地域プロデューサー）【地域再生関連】	31,650	15,825
ふるさと教育推進事業費等【地方創生関連】	25,524	12,764
豊岡DMO設立事業費【地方創生関連】	56,214	20,300
コウノトリ育む農法推進事業等【地方創生関連】	36,331	16,816
学校給食センター、コウノトリ育むお米を週5回へ（うち3回分）	7,884	7,884
非常備消防事業費（消防資機材充実）	220,084	10,000
移住定住促進事業等【地方創生関連】	49,957	23,700
観光事業費	98,984	20,000
母子保健事業費（不妊治療等）【地方創生関連】	19,400	19,300
地域コミュニティのあり方検討事業	26,068	10,000

4 28年度予算

(1) 予算額

146,919千円

(2) 事業内容

寄付のお礼としての謝礼品を充実するとともに、メディアを活用した効果的なPRを行い、ふるさと納税のさらなる推進を図る。

ア PR強化（新聞・雑誌等への広告掲載）

イ 謝礼品に係る業務委託

ウ クレジットカード決済システム利用

担当課名【政策調整課】（内線 2006）

No.3	事業名	公共施設マネジメント計画 の策定	28年度 予算額	9,876 千円	新規 拡大 継続
------	-----	---------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

総合的かつ統括的な観点で本市が保有する公共施設の現状と課題を分析し、市民に提供する施設サービスの水準を適切に維持するため、施設保有量の見直しや計画的な保全による施設の長寿命化など、保有する公共施設を最適に維持管理し、有効活用を図るため公共施設マネジメント計画を策定する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

ア 平成 26 年度、平成 27 年度

施設データの調査を行い、公共施設マネジメント基本方針、公共施設白書を策定。

また、基本方針に基づき施設ごとに総合評価を行い、公共施設等総合管理計画、公共施設再編計画（案）及び中長期保全計画（案）を策定

イ 平成 28 年度

公共施設再編計画（案）及び中長期保全計画（案）について、パブリック・コメントや市民説明会等で意見を伺う機会を設定し、それぞれ計画としてまとめる。

(2) 事業期間

平成 26 年度～平成 28 年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

33,423 千円（計画策定に要する経費について特別交付税の措置あり 措置率 1/2）

3 28 年度予算

(1) 予算額

9,876 千円

(2) 事業内容

庁内推進委員会の開催

市民の意見等聴取

公共施設再編の検討

担当課名【財政課】（内線 2051）

施策体系番号 6-3-2-1

No.4	事業名 地方公会計の整備 (ハードウェア等の導入、システムの改修)	28年度 予算額	10,583 千円	新規 拡大 継続
------	---	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

地方公会計は、現金主義会計では見えにくいコストやストックを把握することで、中長期的な財政運営への活用の充実が期待できるとされており、国において、固定資産台帳の整備と「統一的な基準による」財務書類等の作成が要請されている。

国が示した統一的な基準・マニュアルに基づき、固定資産台帳を更新整備し、必要な標準ソフトウェア、ハードウェア等の導入及びこれに対応するための財務会計システムの改修を行い、財務書類等の作成し、予算編成等財政運営に資する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- 固定資産の棚卸
- 固定資産台帳の更新・整備
- 標準ソフトウェア、ハードウェア等の導入及びこれに対応するための財務会計システムの改修
- 平成 29 年度までに統一的な基準による財務書類等の作成

(2) 事業期間

平成 27 年度～平成 28 年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

23,230 千円

（固定資産台帳整備に係る経費について特別交付税の措置あり 措置率 1/2）

3 28 年度予算

(1) 予算額

10,583 千円

(2) 事業内容

総務省が配布する標準ソフトウェアの運用のためのハードウェア・ミドルウェアの導入及びこれに対応するための財務会計システムの改修

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

国からは、固定資産台帳の整備と複式簿記を導入し、平成 27 年度から平成 29 年度の 3 年間で統一的な基準による財務書類等を作成することを要請されている。

担当課名【財政課】（内線 2051）

施策体系番号 6-3-2-1

No.5	事業名 臨時福祉給付金の支給	28年度 予算額	82,749 千円	新規 拡大 継続
------	----------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

低所得者に対し、消費税率引上げ（5→8%）による影響を緩和するため、簡素な給付措置（臨時福祉給付金の支給）を引き続き行う。

2 事業内容

(1) 内 容

基準日（平成28年1月1日）時点で豊岡市に住民票を有する住民税（均等割）非課税者一人につき、3千円（平成28年10月～平成29年3月分）を支給する。ただし、以下の者は除く。

- ア 平成28年度の市町村民税が課税されている者の扶養親族等
- イ 生活保護制度内で対応される被保護者等

(2) 事業主体

豊岡市

(3) 今後のスケジュール

ア 申請期間（予定）：平成28年8月上旬～平成29年2月上旬

イ 支給期間（予定）：平成28年10月上旬～平成29年3月上旬

※ 年金生活者等支援臨時福祉給付金（平成28年度の臨時福祉給付金の給付要件を満たし、65歳未満で障害基礎年金または遺族基礎年金を受給している者）対象者一人につき、3万円を併せて支給する。

(4) 28年度事業費（補助率・負担率等）

ア 臨時福祉給付金（簡素な給付措置）：48,000千円

イ 年金生活者等支援臨時福祉給付金：16,500千円

ウ 給付事務費：18,249千円

※ 財源は補助率10/10の国庫補助

3 その他参考事項

	臨時福祉給付金（簡素な給付措置）	年金生活者等支援臨時福祉給付金（新設）
対象人数	約16,000人	約10,750人 ①低所得の高齢者：10,200人（H27補正） ②低所得の障害・遺族基礎年金受給者：550人（H28当初）
事業費	H26（決算額） 214,164,679円 H27（見込額） 109,483,000円 H28（予算額） 66,249,000円	①：306,000,000円（給付予算額） ②：16,500,000円（給付予算額）
給付金額	H26：10,000円（一部加算措置あり） H27：6,000円（加算措置無し） H28：3,000円（加算措置無し）	30,000円（①・②とも）

担当課名【総務課】（内線2121）

施策体系番号 1-2-7-3

No.6	事業名 防災行政無線整備事業	28年度 予算額	4,953 千円	新規 拡大 継続
------	----------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

無線規格の変更により、現在運用している防災行政無線設備のアナログ電波が平成34年11月末までしか使用できないこと、設備そのものを更新する時期に来ていることから、現行の防災行政無線に代わる本市にとって最適な防災情報提供システムを整備する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

ア 平成28年度 プロポーザル方式による新たな防災情報提供システムの選定

イ 平成29年度～平成33年度 新システムの整備

(ア) 実施設計

(イ) 親局・中継局・屋外拡声子局整備

(ウ) 戸別受信機配布

(エ) 旧システムの撤去（施設及び旧戸別受信機回収）

地域	防災行政無線 運用開始時期
豊岡	平成15年12月
城崎	平成10年4月
竹野	平成20年4月
日高	平成12年8月
出石	平成12年10月
但東	平成20年7月

(2) 事業期間

平成28年度～平成33年度（見込み）

導入するシステムによっては、整備期間が短くなる場合がある。

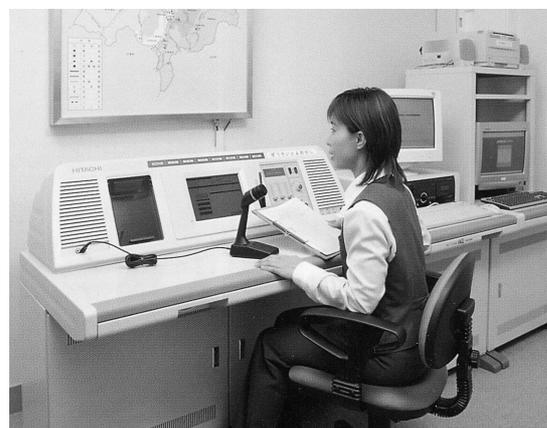
(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

未定（緊急防災・減災事業債により整備予定。

市の一般財源負担率は30%を想定）



3 28年度予算

(1) 予算額

4,953 千円

(2) 事業内容

ア 庁内の検討委員会で検討を進め、新たな防災情報提供システムをプロポーザル方式で選定。その際、専門的な知識及び経験のある業者からアドバイスを受ける。

イ 防災情報提供システムについての先進地の視察

ウ 総務省近畿総合通信局等と新たな防災情報提供システムの導入に向けて協議

担当課名【防災課】（内線 2191）

施策体系番号 1-1-1-2

No.7	事業名 行政区別ハザードマップ作成	28年度 予算額	5,200 千円	新規 拡大 継続
------	-------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

従来の旧市町区域の防災マップは掲載範囲が広く、十分に活用されていない。これに代わるものとして、風水害時の浸水想定及び土砂災害危険情報等を明示した行政区別のハザードマップ及び安全確保手引書を作成し、各戸に配布することにより、風水害時における市民の安全確保行動に資する。

2 28年度予算

(1) 予算額

5,200 千円

(2) 事業内容

平成 25 年度から取り組んでいる 3 ヶ年事業の成果を活用して、最新の国及び兵庫県による浸水想定に基づく行政区別のハザードマップ及び安全確保手引書を作成する。

(3) 事業主体

豊岡市

3 その他参考事項

○ 3 ヶ年事業（平成 25～27 年度）水害時における市民安全確保推進支援事業について

平成 16 年台風 23 号では、市が避難勧告等を出しても避難所へ避難する人の割合は低いという現状が明らかになったため、防災研究機関と連携し、水害時における、リアリティのある、より安全な避難行動の構築を目指す。

全体事業費は 20,265 千円。

当該事業の概要は、次のとおり。

- (1) 安全確保行動マスタープランの策定
- (2) 市民安全確保推進会議及び住民ワークショップの実施
- (3) 市民を災害から守るためのゾーン別安全確保手引書の作成
- (4) 行政区別のハザードマップ（安全確保行動マップ）等の作成
- (5) 市避難意志決定支援マップの作成

担当課名【防災課】（内線 2191）

施策体系番号 1-1-1-3

No.8	事業名	津波避難場所用鍵ボックス 設置	28年度 予算額	1,596 千円	新規 拡大 継続
------	-----	--------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

無電源式の津波避難場所用鍵ボックスを沿岸部の5施設に設置することにより、災害時に迅速に避難することができる体制を構築し、いつ襲ってくるかわからない災害に備える。

2 28年度予算

(1) 予算額 1,596 千円

(2) 事業内容

夜間・休日に指定津波避難場所である学校等の施設内に避難するため、震度5以上の地震の揺れを感知し自動で解錠する津波避難場所用鍵ボックスを設置する。

現在は、夜間・休日の津波に備えて避難場所の鍵を複数の近隣の者が保管しているが、不在時に対応することができない。このため、津波避難場所用鍵ボックスを設置することにより、いつ発生するか分からない津波に対応することが可能となる。

沿岸部の5施設：港西小学校、港東小学校、港中学校、竹野小学校
（株）協漁具製作所（豊岡市小島）

(3) 事業主体

豊岡市

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

(1) 現在の指定津波避難場所の鍵の保管状況

竹野小学校では、地元の自治会が鍵を保管しているが、他の施設では、地元住民等が鍵を保管していない。

(2) 今回設置する鍵ボックスは、地震の揺れを感知して自動で解錠するものであり、鍵ボックスが設置されている壁を蹴ったり揺る程度では解錠しない。

(3) 鍵ボックス



鍵ボックスの設置事例



担当課名【防災課】（内線 2191）

施策体系番号 1-1-1-3

No.9	事業名 地域情報化推進事業 (移動通信用鉄塔施設整備)	28年度 予算額	82,549 千円	新規 拡大 継続
------	--	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

携帯電話サービスは、通信事業者が施設整備・エリア拡大を進めてサービスを提供しているが、採算性等の理由からサービスが提供されない地域が存在する。

近年、防災面においての携帯電話の果たす役割は極めて大きなものとなっており、また、市民生活の利便性の向上、地域の活性化に資するため、通信事業者の参画が得られた携帯電話不通地区に市が携帯電話基地局を整備することで、携帯電話不通地区の解消を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

総務省の携帯電話等エリア整備事業を利用し、通信事業者の参画が得られる地区に携帯電話基地局を整備し、携帯電話事業者がサービス提供を行う。

(2) 事業期間

平成 28 年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 28 年度予算

(1) 予算額

82,549 千円（国庫補助金 2/3、県補助金 2/15、通信事業者負担 1/9）

(2) 事業内容

竹野町坊岡（グリーンパーク北但）、出石町上村（和屋地区）、但東町奥赤（大谷地区）の 3 地区において、携帯電話基地局を整備する。

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

参画する通信事業者は以下のとおり。

- ア 竹野町坊岡局 (株)NTTドコモ、KDDI(株)：(2社共用施設)
- イ 出石町上村局 KDDI(株)、ソフトバンク(株)：(2社共用施設)
- ウ 但東町奥赤局 ソフトバンク(株)

※以上で設置希望のある地区への整備は完了する。

担当課名【情報推進課】（内線 2101）

施策体系番号 3-2-7-1

No.10	事業名 行政情報化推進事業	28年度 予算額	97,534 千円	新規 拡大 継続
-------	---------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

- ① 社会保障・税番号制度（番号制度）導入にかかるシステム改修等を行う。
- ② メーカーサポートが終了する庁用パソコンの更新を行う。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ① 情報システムの新規構築・改修・運用保守
- ② WindowsVista 搭載パソコンの更新

(2) 事業期間

- ① 平成 26～29 年度
- ② 平成 28 年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

- ① 未定（国補助率 国民年金システム 10/10、その他のシステム 2/3）
- ② 62,000 千円（市単独）

3 28年度予算

(1) 予算額

- ① 35,534 千円
- ② 62,000 千円

(2) 事業内容

- ① 情報システムの改修、他団体との情報連携テスト、中間サーバーの運用保守
- ② 庁用パソコンの更新

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

改修を行う情報システム

国民年金システム、国民健康保険システム、介護保険システム、生活保護システム、障害者福祉システム、子ども子育て支援システム、児童扶養手当・児童手当システム、健康管理システム

担当課名【情報推進課】（内線 2101）

施策体系番号 6-3-2-3

No.11	事業名	地域コミュニティのあり方 検討	28年度 予算額	26,068 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	--------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

人口減少、少子化、高齢化に伴い、様々な地域課題が増加している。このため、将来に向けて安心して暮らすことができるよう、地区公民館の単位を基本とした新しい地域コミュニティの仕組みを構築し、住民自治の力を強め、地域の活性化と持続可能な地域運営を推進する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

平成 29 年度に地区公民館をコミュニティセンターに移行し、住民主体の新しい地域コミュニティを推進するため、平成 26 年度から 28 年度に全ての地区でモデル地区に取り組む。市は地域コミュニティを推進する組織の立上げや地域計画づくりを人的・財政的に支援する。

(2) 事業期間

平成 25 年度～

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

61,226 千円（平成 25～平成 28 年度、平成 29 年度以降未定）



3 28 年度予算

(1) 予算額

26,068 千円

(2) 事業内容

- ア. 地域コミュニティ政策推進会議の開催
- イ. 先進地の事例研修、視察、地域人材育成研修
- ウ. 講演会、とよおか地域づくり大会、モデル地区事例集による機運高揚
- エ. モデル地区（全 29 地区）の取組みへの人的、財政的支援

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

関連事業として地域マネージャーの養成事業（地域再生分 1,296 千円）を加え、総額 27,364 千円となる。

担当課名【コミュニティ政策課】（内線 2781）

施策体系番号 5-2-1-2

No.12	事業名	公民館管理等 (修繕、備品等)	28年度 予算額	19,500 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	--------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

平成 29 年 4 月から地区公民館をコミュニティセンター化することとし、各地区で新しい地域コミュニティのモデルとしての取組みが進められている。

新しい地域コミュニティの拠点施設としてスタートするにあたり、環境整備の一環として地区公民館の施設修繕及び施設備品の更新等を行う。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

新しい地域コミュニティの拠点となる地区公民館の施設修繕及び備品整備

(2) 事業期間

平成 28 年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 28 年度予算

(1) 予算額

- 地区公民館施設修繕 10,000 千円
- 地区公民館備品購入 9,500 千円

(2) 事業内容

- 豊岡地区公民館の非常階段塗装修繕、他各地区公民館の施設修繕
- 各地区公民館の備品（机、椅子等）の更新

担当課名【コミュニティ政策課】（内線 2751）

施策体系番号 5-2-1-3

No.13	事業名 公民館整備 (竹野南、三方、国府、清滝)	28年度 予算額	458,409 千円	新規 拡大 継続
-------	---------------------------------------	-------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

平成 29 年 4 月から地区公民館をコミュニティセンター化することとし、各地区で新しい地域コミュニティのモデルとしての取組みが進められている。

新しい地域コミュニティの拠点施設としてスタートするにあたり、環境整備の一環として地区公民館施設の整備（新設）及び施設改修を行う。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

新しい地域コミュニティの拠点となる施設が、安全で安心して、快適な利用が図られるよう、施設の整備及び耐震診断に基づく耐震補強、改修工事を実施する。

(2) 事業期間

平成 28 年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 28 年度予算

(1) 予算額

○竹野南地区公民館整備事業（解体を含む。）	269,109 千円
○三方地区公民館耐震補強・改修工事	60,800 千円
○国府地区公民館改修工事	68,400 千円
○清滝地区公民館改修工事	60,100 千円

(2) 事業内容

○竹野南地区公民館整備事業（施工監理業務を含む。）

現施設の解体工事及び新築工事

○三方地区公民館耐震補強・改修工事（施工監理業務を含む。）

耐震補強（屋根改修）、吊り天井落下防止対策、多目的トイレの設置、空調設備及び太陽光発電（蓄電）設備整備

○国府地区公民館改修工事（実施設計業務、施工監理業務を含む。）

吊り天井落下防止対策、多目的トイレの設置、空調設備及び太陽光発電（蓄電）設備整備

○清滝地区公民館改修工事（実施設計業務、施工監理業務を含む。）

吊り天井落下防止対策、多目的トイレの設置、空調設備及び太陽光発電（蓄電）設備整備

担当課名【コミュニティ政策課】（内線 2751）

施策体系番号 5-2-1-3

No.14	事業名 公民館整備 (西気地区)	28年度 予算額	348,084 千円	新規 拡大 継続
-------	-------------------------------	-------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

地域の公民館活動の拠点施設整備のため、平成21年度に改訂した「地区公民館整備計画」に基づき西気地区公民館の整備を行う。完成後は、集い語り合う身近なコミュニティ施設として様々な公民館活動を展開するとともに、既存の特別教室棟、体育館及びグラウンドを含めた新しい地域コミュニティの拠点施設となる。

2 全体の事業内容

(1) 内容

西気小学校の閉校（平成24年度末）後、跡地利用の一環として、普通教室棟を撤去した跡地に公民館を建設する。

(2) 事業期間

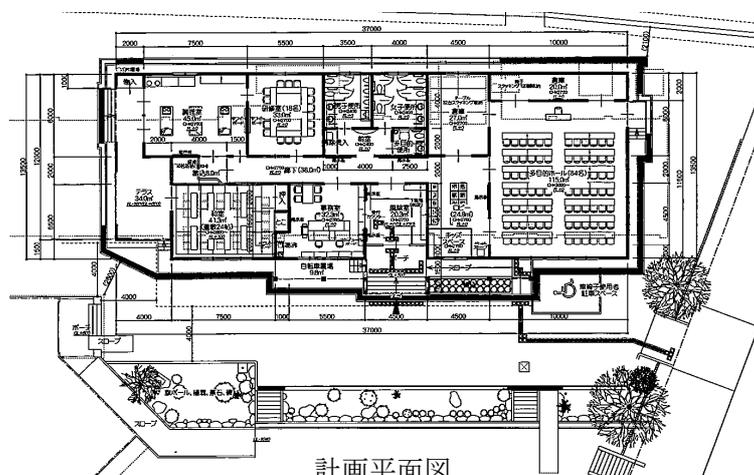
平成27年度 実施設計、既存プール取壊し
平成28年度 普通教室棟取壊し、公民館建設、施工監理、特別教室棟・体育館改修、進入橋りょう整備、現西気コミュニティセンター改修等
※平成28年12月末 完成予定

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

375,196千円
(H27年度地域再生戦略交付金及び合併特例債、H28年度辺地債を活用して整備を行う。)



計画平面図

3 28年度予算

(1) 予算額

348,084千円

(2) 事業内容

- ・旧西気小学校普通教室棟の解体撤去、跡地に西気地区公民館を建設する。
- ・旧西気小学校特別教室棟及び体育館の改修を行う。
- ・進入橋りょうの架替えを行う。
- ・現西気地区コミュニティセンターの改修を行う。

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

新公民館整備後、西気地区公民館と地元栗栖野区の集会施設とを併設していた現西気地区コミュニティセンターは、地元栗栖野区の集会施設となる。

担当課名【生涯学習課】（内線 2741）

施策体系番号 5-2-1-3

No.15	事業名	子どもの野生復帰事業	28年度 予算額	10,723 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

現在豊岡の子どもたちは、生活様式の変化などから自然との触れ合いが不足している。

より多くの自然体験を行った子どもは、自立心や社会性が育まれ、正義感、道徳観が養われるといわれており、自然豊かな豊岡の地で野外活動や自然体験をすることは、郷土を愛する心豊かな子どもの育成につながる。

仲間づくりの元気な核となるたくましい子どもを一年間かけて育むとともに、その親や地域住民を巻き込み、楽しさや重要性、活動意義を広く市民に周知していく。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

ア キッズワイルド 2016（通年、委託実施）

（ア） 委 託 先 NPO 法人但馬自然史研究所

（イ） 委託内容

- ・ 四季型周年プログラム（対象：子ども、親子、家族）

「ふるさと生き物コース」 “地域固有の自然” 6回予定（定員各 40 人）
豊岡の生き物の多様性を現地で学ぶ

「すみずみ探訪コース」 “先人の言い伝え” 6回予定（定員各 30 人）
各地域の先人文化に親しむ

「わくわく豊岡人コース」 “新田舎暮らし” 6回予定（定員各 80 人）
（家族コース） 四季を感じて自然の中で親子で楽しむ

- ・ 出向く野生復帰大作戦

地区公民館を拠点として地域の自然や文化遺産の再発見など特色あるプログラムを実施する。今年度は 7 地区公民館（定員各 40 名）で実施予定。

- ・ 公開野生復帰まつり

10 月 23 日（日）竹野町地内で“公開野生復帰まつり”を開催予定。

イ 野外キャンプ 7 月 9 日（土）たけのこ村で親子を対象にしたデイキャンプを実施予定。

(2) 事業期間

平成 18 年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 28 年度予算

(1) 予算額

10,723 千円

(2) 事業内容

ア キッズワイルド 2016 10,555 千円

イ 野外キャンプ 110 千円

ウ 事務費 58 千円



川遊び



野生復帰まつり

担当課名【生涯学習課】（内線 2741）

施策体系番号 4-1-2-3

No.16	事業名 図書館管理 (LED化・情報システム端末の充 実等)	28年度 予算額	44,170 千円	新規 拡大 継続
-------	---	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

本館は、開館から16年が経過し、本館内照明器具が経年により不点灯が急激増加してきた。この際、照明器具の一部をLED化し、館内を明るく保ち利用者の利便性を確保するとともに、光熱水費の削減を目指す。

また、図書館情報システムを搭載している端末機器のOS（windows Vista）のサポートが平成29年4月に終了することから、28年度中に最新OSを搭載した端末機器に更新しセキュリティ対策を向上させるとともに、利用者への安定したサービス提供を確保する。

本館2階の各部屋の空調が経年劣化等により故障したが、修理不能との診断であるため更新する。

2 全体の事業内容

(1) 全体事業費（補助率・負担率等）

44,170千円（うち空調設備更新は合併特例債を活用して行う。）

(2) 内 容

ア LED化 5,051千円
本館館内の蛍光灯（40灯）、水銀灯（34灯）

イ 図書館情報システム端末更新 9,684千円
windows Vistaが搭載されている端末（38台）について、最新OSを搭載した機器に更新する。併せてプリンタ（25台）も整合性を図るため更新する。

※図書館情報システムの内容

資料の貸出返却、インターネットによる予約受付、個人読書記録管理等

ウ 空調設備更新 29,435千円
2階事務室、会議室、視聴覚・講演室の空調設備（ガスヒートポンプ方式）を更新する。（室内機10台、室外機2台）

(3) 事業期間

平成28年度

(4) 事業主体

豊岡市

担当課名【生涯学習課】（内線2741）

施策体系番号5-1-1-2

No.17	事業名	日本・モンゴル民族博物館事業	28年度 予算額	4,404 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	----------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

日本・モンゴル民族博物館は、平成8年の開館から今年で20周年を迎える。この節目を市民の皆さんとともに祝う記念行事を開催するとともに、新たな博物館のあり方と地域づくりを考える機会とする。

2 28年度予算

(1) 予算額

ア 自主事業費	1,597 千円
イ 開館20周年事業費	2,807 千円

(2) 事業内容

ア 博物館自主事業

企画展（第70回「満州『大兵庫開拓団』と高橋村」、第71回「昭和の大合併～村から町へ～」）の開催

夏休み博物館教室、やきもの体験教室、雛まつり行事等の開催

地元行事や在日モンゴルイベント「2016 ハワリンバヤル」等への出展参加

イ 開館20周年記念フォーラムの開催

日時場所 平成28年10月1日（土）／但東市民ホール

内 容 交流事例発表、講評や提言など（予定）

招聘予定 ソドブジャムツ・フレルバートル駐日モンゴル国特命全権大使閣下
サンジ・デムベレル氏（モンゴル・豊岡シルクロード友好協会副会長兼理事長） 他

参加予定 関西地方でモンゴル国とつながりを持つ個人または団体等

ウ 開館20周年地域共催イベント「日本モンゴル宝まつり（仮）」の開催

日時場所 平成28年11月5日（土）～6日（日）／日本・モンゴル民族博物館及び周辺

内 容 地域イベントの共催による交流行事を開催（地域の催し物のほか、民族音楽会や各種体験教室、関係展示など）

参加予定 関西在住の在日モンゴル人或いは留学生

その他 博物館近隣で例年開催するチューリップまつりや七夕、ひな祭り行事と併せ、折にふれて開館20周年記念と銘打ち通年イベントとして民族音楽コンサートの開催を一体的に行う。

担当課名【文化振興課 日本モンゴル民族博物館】（電話 56-1000）

施策体系番号 5-1-2-3

No.18	事業名 植村直己冒険館の自主事業	28年度 予算額	1,643 千円	新規 拡大 継続
-------	------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

世界的な冒険家・植村直己が夢の実現のために大自然を相手に行動したように、自分自身へ挑戦し続ける自立した人づくり、あきらめない精神を継承する顕彰活動及び植村の心の継承と元気な旅人（チャレンジャー）を応援する事業を展開する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ア 企画展 「植村直己装備品展」
- イ 特別展 「植村直己冒険賞受賞者展」 「冒険館に立ち寄った旅人展」
- ウ 特別事業 「植村直己の精神をつなぐ事業」
「植村直己に学ぶ」野外活動実行委員会（サバイバル体験事業）への補助



植村直己の精神をつなぐ事業（冒険賞受賞者による講演）



サバイバル体験事業

(2) 事業期間

平成 28 年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 28 年度予算

(1) 予算額

1,643 千円

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

企画展とは、植村直己に直接関係する企画。特別展とは、植村直己の精神を引きつぐ人や植村直己冒険館関係者にまつわる企画。

担当課名【生涯学習課】（内線 2741）

施策体系番号 5-1-2-1

No.19	事業名 植村直己冒険賞	28年度 予算額	9,596 千円	新規 拡大 継続
-------	-------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

世界的な冒険家・故植村直己氏の精神を継承し、人々に夢と希望そして勇気を与えてくれた創造的な行動（業績）について受賞者を選考・発表し、授賞式や記念講演会を行なう。

賞創設後 20 回目を迎え、この節目に、歴代の受賞者を豊岡に招き、記念講演会や市民参加型の交流事業を通し、冒険賞の意義を広く PR する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ア 2015「植村直己冒険賞」授賞式の開催（6月）
- イ 受賞者による市内小・中学生への講演会等（交流事業）の実施（秋）
- ウ 2016「植村直己冒険賞」受賞者の選考
- エ 植村直己冒険賞 20 周年記念事業の開催（8月）

(2) 事業期間

平成 28 年度

(3) 事業主体

豊岡市



2013「植村直己冒険賞」授賞式



受賞者による小学校出前授業

3 28 年度予算

(1) 予算額

9,596 千円

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

(1) 植村直己冒険賞 20 周年記念事業（予算額のうち 3,900 千円）

- テーマ 「笑顔でチャレンジ 2016（仮称）」～忘れない感謝の心～
- 日 時 8 月中旬
- 場 所 日高文化体育館、植村直己冒険館ほか
- 内 容 歴代受賞者による記念講演会、交流イベント等

(2) 植村直己冒険賞（平成 8 年度創設）は、2015「植村直己冒険賞」で 20 回目を迎える。その間 17 名と 1 グループに本賞を、3 名と 1 グループに特別賞を贈っている。

担当課名【生涯学習課】（内線 2741）

施策体系番号 5-1-2-1

No.20 事業名 人権教育推進事業	28年度 予算額	8,609 千円	新規 拡大 継続
--------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

人権教育及び人権啓発の推進に関する法律の基本理念や豊岡市いのちへの共感に満ちたまちづくり条例に基づき、すべての人を対象として、人権尊重の精神の涵養を目的とした教育活動・啓発を推進する。

特に本年度は過去に実施してきた人権教育・啓発事業の検証を行うため、現在の人権に対する市民意識・実態を調査し、今後の人権教育・啓発活動の方向性、あり方を見出す。

2 28年度予算

(1) 予算額

8,609 千円

(2) 事業内容

ア 人権意識の向上を目的とした人権文化創造活動支援事業を実施する。（出石・竹野地域での各種学級の開設）

イ 但馬地区人権教育研究協議会への負担金、豊岡市人権教育推進協議会（6支部）への補助金の支出。

ウ 人権感覚の向上に役立てる人権標語・ポスターの募集（小・中学生、一般）とともに、新たに本年度から“こころの詩”の募集を行う。

エ 人権教育・男女共同参画推進員（4名）による出前講座を実施する。

オ 成人式で人権啓発冊子を配布する。

カ 人権文化をすすめる県民運動推進強調月間（8月）及び人権週間（12/4～10）での重点的な啓発活動を行う。

キ 旧市町域を対象とした各種人権講座、講演会、研修会を企画・実施する。

ク 過去の人権教育・啓発活動の検証と今後の施策の方向性を見定めることを目的とした本年度「人権に関する市民意識・実態調査」を実施する。

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

ア 「人権に関する市民意識・実態調査」は、市町合併後初めて実施する。二十歳以上の市民2,000人を対象とする予定で、アンケート項目については、（仮）検討委員会を設置して内容を検討する。調査結果については、報告書としてまとめ様々な活用を図るとともに、市広報等で公表する。

イ 兵庫県では、平成10年から5年毎に人権に関する県民意識調査を実施している。直近では平成25年に実施された。

担当課名【生涯学習課】（内線 2741）

施策体系番号 5-1-1-3

No. 21 事業名 市立美術館の改修	28年度 予算額	29,480 千円	新規 拡大 継続
---------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

市立美術館－伊藤清永記念館－は、平成 26 年度に名称変更し、市民の美術館として再スタートした。

子どもから高齢者まで、利用する皆さんが鑑賞の他、学習、創作、発表、交流できる場を確保し、快適で利用しやすい施設環境を整えるため、美術館の改修整備工事を行う。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

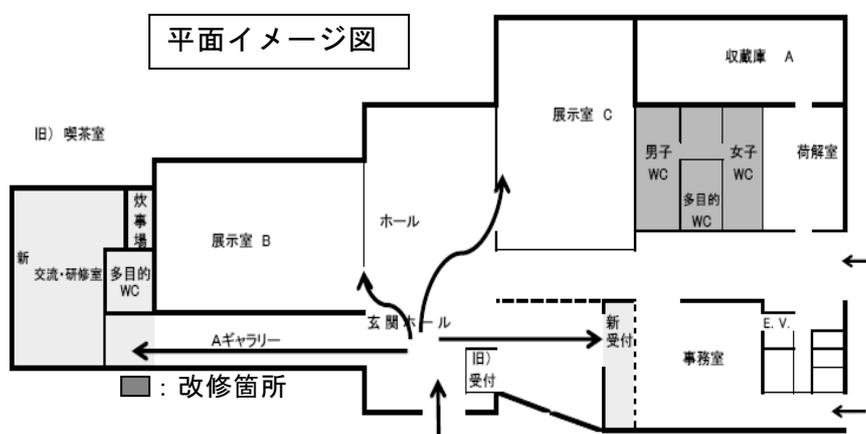
設計・監理、改修整備工事、備品購入

(2) 事業期間

平成 28 年 6 月～
平成 29 年 2 月

(3) 事業主体

豊岡市



3 28 年度予算

(1) 予算額

設計管理業務委託料	2,480 千円
整備工事費	24,800 千円
備品購入費	2,200 千円

(2) 事業内容

学習・交流室整備（現喫茶室を用途変更）、多機能トイレの設置、既存トイレの改修、展示室内装張替、空調中央監視盤更新等
備品購入（作業机、椅子、移動式パネル、結界等）

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

整備工事にあっては美術館利用が夏から秋にかけて多いことから、計画的な整備を行い、可能な限り休館日を少なくするなど、入館利用者に不便のないよう配慮する。

担当課名【文化振興課】（内線 2772）
【同課 市立美術館 - 伊藤清永記念館 -】（電話 52-5456）

施策体系番号 5121

No.22 事業名 永楽館の改修	28年度 予算額	9,135 千円	新規 拡大 継続
------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

出石永楽館は、施設の一般公開のほか、歌舞伎や落語、芝居などの公演など、市内外の幅広い利用がある。

開館から8年が経過し、施設設備の一部に経年劣化による不具合が指摘されている。修繕により、施設の安全性・利便性の向上を図り、子どもから高齢者まで幅広い層が快適で利用しやすい施設環境を整える。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ① 衛生設備の整備 2,599 千円（工事費）
設計監理費 260 千円（委託料）
※既存の和式女子トイレ4台を洋式とする。
- ② 照明設備の修繕 616 千円（修繕料）
- ③ 舞台吊物用ワイヤー 2,592 千円（修繕料）
- ④ 舞台幕の修繕及び取換 3,068 千円（修繕料）

(2) 事業期間

平成 28 年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 28 年度予算

(1) 予算額

9,135 千円

担当課名【文化振興課】（内線 2774）

施策体系番号 5-1-2-2

No.23	事業名 生涯スポーツの振興	28年度 予算額	3,242 千円	新規 拡大 継続
-------	---------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

トップレベルの競技大会を誘致開催することにより市民のスポーツへの関心を高める。さらに、一流の選手や指導者と身近に接することにより、多くの子どもたちが感動や憧れだけでなく、夢や希望を育むことのできる機会としてスポーツ教室を開催する。

また、誰もが身近なところで気軽に運動やスポーツに親しみ、楽しめることを目指し、スポーツクラブ 21 等との連携により、チャレンジデーを開催する。

2 全体の事業内容

(1) 平成 28 年度第 49 回日本女子ソフトボール 1 部リーグ豊岡大会

- ア 期 日 平成 28 年 5 月 14(土)～15 日(日)
- イ 会 場 兵庫県立但馬ドーム
- ウ 出場チーム 1 部リーグ所属 6 チーム(1 日 3 試合×2 日)
- エ 事業費 500 千円 (実行委員会への補助金)
- オ 主催 (公財)日本ソフトボール協会、日本女子ソフトボールリーグ機構
- カ 主管 日本女子ソフトボール 1 部リーグ豊岡大会実行委員会

(2) 少年野球教室の実施

- ア 期 日 通年開催で、6 回の開催を予定
- イ 会 場 こうのとりスタジアムほか
- ウ 内 容 NOMO ベースボールクラブによる野球教室の開催
- エ 対 象 少年野球チーム、中学校野球部など
- オ 事業費 1,500 千円

(3) バスケットボール教室の実施

- ア 期 日 平成 28 年 5 月下旬、合計 2 日間 2 教室の予定
- イ 会 場 豊岡市立総合体育館
- ウ 内 容 日本を代表する選手や指導者等を招へいたバスケットボール教室の開催
- エ 対 象 小学生ミニバスケットボール部員、中学・高校生バスケットボール部員
- オ 事業費 542 千円

(4) 住民総参加型チャレンジデー 2016 への参加

- ア 期 日 平成 28 年 5 月 25 日(水)
- イ 会 場 豊岡市内全域
- ウ 内 容 笹川スポーツ財団が開催するチャレンジデーへの参加(平成 22 年度から参加し 7 年目)
- エ 事業費 700 千円 (実行委員会への補助金)
※笹川スポーツ財団事業助成金 補助率 80%以内：約 560 千円 (予定)

担当課名【スポーツ振興課】 (内線 2791)

施策体系番号 5-1-3-1・2・3

No.24 事業名 日高文化体育館の改修	28年度 予算額	9,823 千円	新規 拡大 継続
----------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

日高文化体育館は、スポーツによる利用のほか、文化活動による利用（音楽会、ピアノ発表会など）も盛んであるが、ステージの天井反射板が経年劣化により不具合が生じており、安全対策のため、現在、使用を中止している状況である。

このため、ステージの天井反射板の補修を行い、利用者が安心して施設を利用できるようにする。

あわせて、トイレの一部洋式化を図り、利用者の利便性の向上に資する。

2 全体の事業内容

① 内 容

- ① ステージの天井反射板（3カ所）の補修
- ② トイレの一部洋式化（男子1カ所、女子2カ所）

(2) 事業期間

平成28年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 28年度予算

(1) 予算額

9,823 千円

担当課名【スポーツ振興課】（内線 2791）

施策体系番号 5-1-3-1

No.25	事業名 出石野球場の改修	28年度 予算額	14,000 千円	新規 拡大 継続
-------	--------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

出石野球場は、町内・市・但馬の野球大会のほか、NOMO ベースボールクラブなどの練習球場として利用されている。

しかし、施設開設後 43 年が経過し、内野及び外野面の経年劣化がみられることから、施設の大規模改修を行う。

また、野球場に隣接した温泉施設に向かう道路がある。硬式ボールの場外への飛び出しを防止するため、安全対策を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ①内野及び外野グラウンドの改修
- ②スコアボードの改修
- ③防球ネットの設置 等

(2) 事業期間

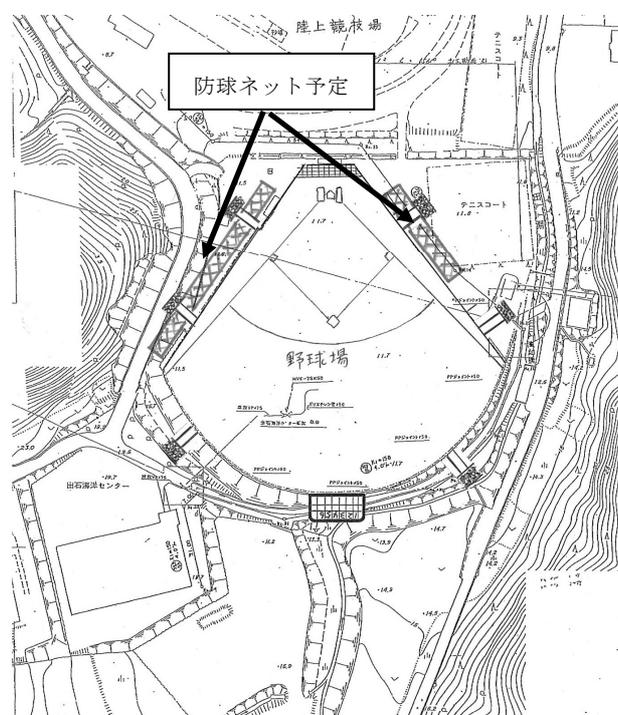
平成 28 年度～平成 29 年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費

278,000 千円



3 28 年度予算

(1) 予算額

14,000 千円

(2) 事業内容

実施設計

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

現時点での改修計画

- ・内野グラウンド排水施設の改修と黒土の入替え
- ・外野排水施設の改修と天然芝の張替え
- ・スコアボードの改修
- ・夜間照明施設の改修（LED 化）
- ・ダッグアウトの一部改修
- ・防球ネットの設置 等

担当課名【スポーツ振興課】（内線 2791）

施策体系番号 5-1-3-1

No.26	事業名 円山川運動公園の移転整備	28年度 予算額	498,960 千円	新規 拡大 継続
-------	------------------	-------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

国土交通省の円山川水系河川整備計画（遊水地化）の推進に伴い、同計画地内にある現運動公園を土渕から下鶴井に移転する。

現施設と同様に移転先においても少年野球等の競技が可能な多目的グラウンド4面を確保し、大交流の推進や地域経済の活性化を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ①少年野球やソフトボールなどが同時に4試合行える規模のグラウンド整備
（多目的グラウンド4コート）
- ②管理棟・駐車場の整備
- ③環境整備 等

(2) 事業期間

平成25年度～平成29年度（予定）

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費

1,680,000 千円

3 28年度予算

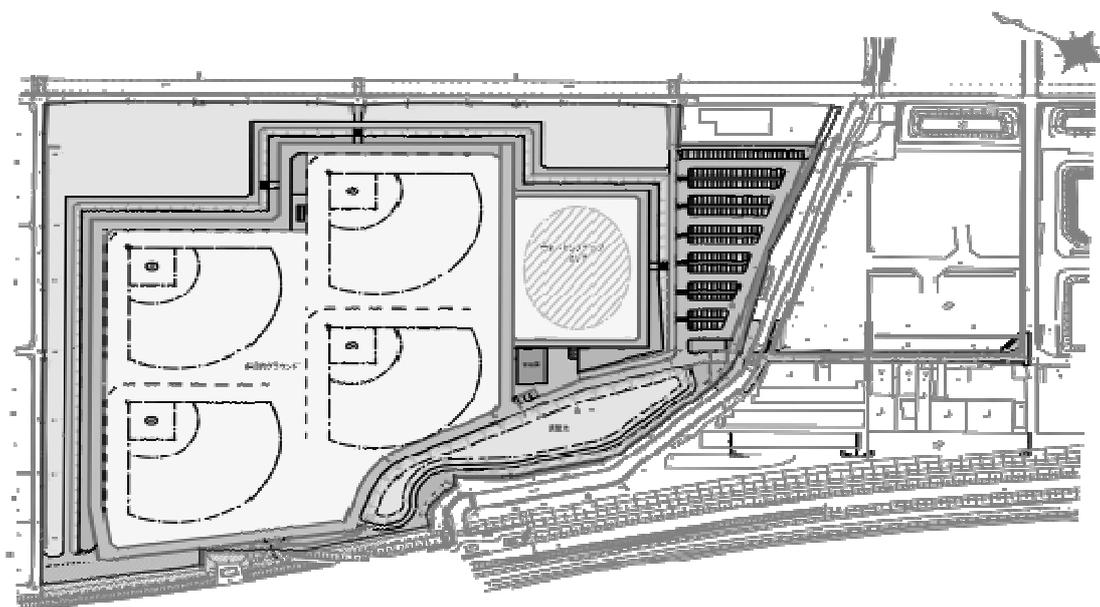
(1) 予算額

498,960 千円

(2) 事業内容

運動公園整備工事等

4 その他参考事項（事業計画平面図）



担当課名【スポーツ振興課】（内線 2791）

施策体系番号 5-1-3-1

No.27	事業名	乳幼児医療費助成・こども医療費助成の拡充	28年度 予算額	29,456 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	----------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

豊岡市では兵庫県と共同事業として福祉医療費助成事業を行っている。また、市独自の上乗せ事業とし入院医療費の無料化を平成24年7月から実施している。

医療保険制度は、保険料と自己負担による相互扶助の考え方を基に成り立っている。

この基本的な考え方を堅持しつつ、子育て世代へ経済的な応援として中学生以下の子どもに対する医療費助成を拡充することにより、子育てしやすい環境を整える。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

現在の入院無料化に加え、外来医療費に対する助成を次のように拡充する。

区分	現行 (自己負担限度額等)	拡充案	対象者 (H27.12末)	備考
乳幼児等 医療 (小3以下)	一般 800円 低所得 600円	一律 400円	6,111人	自己負担限度額： 医療機関当1日の限度額 (月3回目以降は無料)
こども医療 (小4～中3)	自己負担額の 1/3を助成	左記に加え 月額負担限度額 1,600円	3,892人	月額限度額：医療機関毎

(2) 事業期間

平成28年7月1日～平成38年6月30日（10年間）

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費

拡充に要する経費（10年間）376,331千円

※ 財源については、金銭信託の運用利息（今後の見込みを含め、約6億5千万円）の一部を活用する。

3 28年度予算

(1) 予算額

147,471千円（拡充分29,456千円）

（内訳）乳幼児等医療費助成 119,167千円（拡充分 23,831千円）

こども医療費助成 28,304千円（拡充分 5,625千円）

(2) 事業内容（拡充に要するもの）

システム改修費、扶助費

担当課名【市民課】（内線2251）

施策体系番号 1-2-7-2

No.28	事業名 旧清掃施設の解体撤去	28年度 予算額	49,205 千円	新規 拡大 継続
-------	----------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

豊岡清掃センターの稼動に併せて閉鎖した、旧町ごみ処理施設のうち三施設（旧城崎町・旧竹野町・旧出石町）と旧し尿処理施設については、施設解体が完了していないため、老朽化が著しく、放置しておけば自然崩壊の心配もある。また、周辺市民の要望も強く、施設を撤去する。

なお、豊岡清掃センターは、28年3月末で受入れ業務を終了するが、解体撤去については、高規格道路の整備計画に関連する事から、施設の解体撤去計画が定まっていないため、直ちに解体に着手できない。解体撤去までの衛生維持処理業務を行う。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ア 豊岡清掃センターを除く旧清掃施設の解体撤去に向けた調査・計画策定
- イ 計画に基づく解体撤去

(2) 事業期間

平成28年度～平成32年度

(3) 全体事業費（補助率・負担率等）

年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	合 計
事業内容	○調査・計画・設計業をコンサルに委託（旧出石施設）	★施設解体撤去（旧出石施設） ○調査・計画・設計業をコンサルに委託（旧城崎・竹野・し尿処理施設）	★施設解体撤去（旧城崎施設）	★施設解体撤去（旧竹野施設）	★施設解体撤去（旧し尿処理施設）	
事業費	16,438	161,303	108,769	108,669	324,207	719,386

3 28年度予算

(1) 予算額

49,205 千円

(2) 事業内容

豊岡清掃センター廃止業務	28,000 千円
豊岡第2清掃センター安定化対策推進業務	3,467 千円
福住塵芥処理場進入路土砂撤去	1,300 千円
旧出石町施設解体撤去事業調査・計画・設計業務	16,438 千円

担当課名【環境センター】（内線 2831）

施策体系番号 2-2-1-1

No.29 事業名 北但ごみ処理施設整備	28年度 予算額	1,725,565 千円	新規 拡大 継続
----------------------	-------------	--------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

豊岡市、香美町及び新温泉町で構成する北但行政事務組合の運営に係る経費及び北但ごみ処理施設整備事業費にかかる豊岡市負担金を負担する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

北但行政事務組合負担金を負担する。

(2) 事業期間

平成 28 年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

豊岡市の負担金額は、北但行政事務組合の運営にかかる経費及び北但ごみ処理施設整備事業費にかかる費用から特定財源を控除した額に、豊岡市の負担率を乗じて求めた額とする。



北但ごみ処理施設イメージ図

	施設の設置に要する経費			運営に要する経費		
	市町負担金率	均等割	人口割	市町負担金率	均等割	処理量割
豊岡市	64.9819%	15%	85%	67.7362%	10%	90%
香美町	18.8027%			17.6235%		
新温泉町	16.2154%			14.6403%		
合 計	100.0000%			100.0000%		

（人口は平成 22 年国勢調査、処理量は平成 27 年実績）

3 28 年度予算

(1) 予算額

北但行政事務組合負担金 1,725,565 千円

※ 1 市 2 町負担金の合計額 2,703,997 千円

(2) 事業内容

北但行政事務組合負担金及び既に議決されている債務負担行為に係る支出予定額を負担する。

4 その他参考事項

(1) 過年度議決に係る債務負担行為のうち平成 28 年度支出予定額

北但行政事務組合負担金

ア 北但ごみ処理施設設計施工監理業務	9,896 千円
イ 北但ごみ処理施設整備事業 平成 26 年度追加分	1,283,179 千円
ウ 北但ごみ処理施設整備事業 平成 27 年度追加分	237,773 千円
エ 焼却灰等運搬業務	13,547 千円

(2) 北但ごみ処理施設のごみの受け入れ開始時期

平成 28 年 4 月 1 日

担当課名【生活環境課】（内線 2281）

施策体系番号 2-2-1-1

No.30 事業名 LED 防犯灯整備補助	28年度 予算額	10,860 千円	新規 拡大 継続
-----------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

LED灯は、長寿命・省電力という大きなメリットがあるとともに、従来の蛍光灯の防犯灯と比べ環境負荷を低減し、ランニングコストの削減を図ることができる。

そのため、市では地域の防犯・安全を推進し、照明による環境負荷を低減するため、自治会の防犯灯のLED化に対して補助してきた。

しかし、市内の自治会（区・町内会）が設置している防犯灯の基数は1万基以上と推測されるが、すでにLED化されている防犯灯は約1,700基程度に留まっていることから、年々高まるこの補助制度に対する自治会からの要望に応える。

※これまでも予算を増額してきたが、さらにLED化のスピードアップを図るため大幅な予算の増額を行う。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

自治会（区・町内会）に対する防犯灯整備補助

- ・LED防犯灯新設工事
- ・既存防犯灯のLED化工事
- ・故障防犯灯器具のLED取替工事

(2) 事業期間

平成24年度～

（平成24年度からLED化を促進している。）

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

補助金額は、設置に要する費用の1/2以内で1灯あたりの上限は次のとおり

項 目	LED灯
電柱等既存の支柱への設置	12,000 円
支柱等を新設しての設置	17,500 円

3 28年度予算

(1) 予算額

10,860 千円

(2) 事業内容

自治会（区・町内会）に対するLED防犯灯整備補助 年間 約1,000基

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

【過去の補助実績】

平成24年度 248基、平成25年度 302基、平成26年度 565基、
平成27年度 600基（予定）

担当課名【生活環境課】（内線 2281）

施策体系番号 1-1-3-2

No.31	事業名 豊岡斎場大規模改修事業	28年度 予算額	182,746 千円	新規 拡大 継続
-------	-----------------	-------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

豊岡斎場は昭和 60 年の開設から 30 年が経過。この間、炉内耐火材等の全面積替工事や大型炉への改修工事などを実施してきた。しかし、火葬炉の外枠や燃焼装置、電気設備等基本部分が老朽化し、全面改修が必要となっている。

財政負担を軽減するため、改築は行わず、火葬炉の全面改修や必要な機械設備等の入替え工事を行い、今後約 25 年間程度の使用延長を目指す。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

全体事業：平成 28～平成 29 年度の 2 ヶ年事業

28 年度：建築工事（「冷却前室」新設のための増築、受変電設備・非常用自家発電設備の変更、建築物の壁面修理等）及び 1・2 号炉の撤去・新設

29 年度：3・4 号炉及び 5・6 号炉の撤去・新設（2 炉改修）

(2) 事業期間

平成 28 年度～平成 29 年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

327,468 千円

3 28 年度予算

(1) 予算額

182,746 千円

(2) 事業内容

増築工事、受変電設備・自家発電設備等の入替え工事、1・2 号炉全面入替え工事

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

- ・炉の延命や葬祭時間の短縮を図るため、「冷却前室」を新設する。
（1 件当たり火葬総時間が約 15 分短縮）
- ・改修工事期間中は 4 炉（現状 6 炉）対応となり、1 日 2 回転で最大 8 件の火葬とすることから、全炉清掃業務必要となり、今年の 4 月 1 日から火葬時間の予約制を開始する。（現在の火葬順は斎場への到着順）

担当課名【環境センター】（内線 2831）

施策体系番号 1-1-2-8

No.32 事業名 地域福祉計画の策定	28年度 予算額	5,718 千円	新規 拡大 継続
---------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

平成 28 年度末で計画期間が終了する「豊岡市地域福祉計画」について、地域の福祉課題を共有し、住民や福祉団体、ボランティア等と協働して地域福祉を推進するための仕組みづくりを進め、より実効性の高い計画とするため、豊岡市社会福祉協議会が策定している「豊岡市地域福祉推進計画」と一体的に策定する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

学識経験者、福祉・保健・医療関係者、地域団体代表者、公募委員等で構成する策定委員会を設置し、住民意識調査（アンケート、グループインタビュー等）等による意見集約を行いながら、策定委員会での検討を経て計画を策定する。

(2) 事業期間

平成 27 年度～平成 28 年度

(3) 計画期間

平成 29 年度～平成 33 年度（5 年間）

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

6,071 千円 ※社会福祉協議会より事業費の 1/2 相当の負担金あり

3 28 年度予算

5,718 千円 ※社会福祉協議会より事業費の 1/2 相当の負担金あり

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

スケジュール（予定）

① 平成 27 年度

平成 28 年 2 月～ 策定委員会の設置（以後 5～6 回開催）
アンケート調査、グループインタビュー等

② 平成 28 年度

平成 28 年 10 月 計画素案の作成
平成 29 年 1 月 パブリックコメントの実施
3 月 計画策定

担当課名【社会福祉課】（内線 3001）

施策体系番号 1-2-3-1

No.33 事業名 障害者計画の策定	28年度 予算額	3,859 千円	新規 拡大 継続
--------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

障害者基本法第 11 条の規定により策定が義務付けられている「障害者計画」について、現行の計画の期間（平成 19～28 年度）が終了するため、新たに計画を策定し、障害者の自立及び社会参加の支援等のための施策を総合的かつ計画的に推進する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

国の障害者基本計画及び県の障害者計画を基本とするとともに、当市における障害者の状況等を踏まえ、障害者のための施策に関する理念、基本方針を定める基本的計画として策定する。

(2) 事業期間

平成 28 年度

(3) 計画期間

平成 29 年度～平成 32 年度（4 カ年）

※ 豊岡市障害福祉計画の見直し時期と合わせるため、計画期間を平成 29 年度から平成 32 年度までの 4 カ年とする。

(4) 事業主体

豊岡市

(5) 今後のスケジュール（予定）

平成 28 年 5 月～ 策定委員会の設置（5 回程度開催予定）

平成 28 年 6 月～ グループインタビュー

平成 29 年 1 月 パブリックコメントの実施

平成 29 年 2 月 計画策定

3 28 年度予算

(1) 予算額

3,859 千円

(2) 事業内容

地域・障害者団体関係者、福祉・医療・雇用及び就労関係者、学識経験者、公募委員等で構成する豊岡市障害者福祉計画策定委員会を設置し、グループインタビュー、パブリックコメント等による意見集約を行いながら、策定委員会での検討を経て計画の見直しを行うものである。

担当課名【社会福祉課】（内線 3001）

施策体系番 号 1-2-6-1

No.34	事業名	竹野多目的屋内運動広場改修	28年度 予算額	33,000千円	新規 拡大 継続
-------	-----	---------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

平成7年度に高齢者の介護予防、健康づくり、生きがいつくりの場として整備した竹野多目的屋内運動広場の改修工事を実施する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

竣工後20年が経過した竹野多目的屋内運動広場は、施設の老朽化に伴い①雨漏り②錆等による外柱の腐敗③コート面のデコボコ等、施設全体が損傷しているため、利用者が安心して利用できるよう施設の改修を行う。

(2) 事業期間

平成28年7月～10月

(3) 事業主体

豊岡市

3 28年度予算

(1) 予算額

33,000千円

(2) 事業内容

(ア) 屋根、外柱等躯体改修

雨漏り、また錆等により外柱等の腐敗が著しい。屋根を含む躯体全体の改修を行う。

(イ) グラウンドの改修

コート面がデコボコである。コート面全面の改修を行う。

(ウ) 照明機器の更新

施設の照明を水銀灯からLEDへ変更する。

4 施設写真



担当課名【高年介護課】（内線 3071）

施策体系番号 1-2-4-2

No.35	事業名 住宅改造費助成事業 (人生 80 年いきいき住宅助成事業)	28 年度 予算額	7,000 千円	新規 拡大 継続
-------	---	--------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

将来に備え高齢者に対応した住宅に改造することで、転倒や骨折などの要因で介護状態に陥ることを防止し、住み慣れた住宅で安心して自立した生活を送ることができるよう支援する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

対象世帯	60 歳以上の高齢者と同居している世帯で、特別型(※)の対象でない次の世帯 ① 生計中心者が給与収入のみで前年分の給与収入金額が 800 万円以下 ② 生計中心者が給与収入のみ以外で前年分の所得金額が 600 万円以下
対象費用	浴室・洗面所、便所、玄関、廊下・階段、居室、台所などの改造に要する経費（箇所毎の限度額あり）
補助要件	2 箇所以上の改造を行い、簡易耐震診断を行うこと（昭和 56 年 5 月以前に建築された戸建住宅に限る）
補助対象限度額	100 万円
補助率	市民税課税世帯 1 / 3 市民税非課税世帯 1 / 2

※特別型：要支援・要介護認定者、身体障害者手帳・療育手帳の交付を受けた者

(2) 事業期間

平成 28 年 4 月 1 日～

(3) 基本事業

人生 80 年いきいき住宅助成事業（兵庫県）

(4) 事業主体

豊岡市

3 28 年度予算

(1) 予算額

7,000 千円

(財源内訳 国庫補助金 3,500 千円、県補助金 1,500 千円、一般財源 2,000 千円)

担当課名【高年介護課】（内線 3071）

施策体系番号 1-2-4-1

No.36	事業名 民間老人福祉施設助成事業	28年度 予算額	113,187 千円	新規 拡大 継続
-------	------------------	-------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

豊岡市老人福祉計画・第6期介護保険事業計画等に基づいて、介護サービス及び介護予防・日常生活支援総合事業に係る基盤整備を推進する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

介護サービス基盤及び介護予防・日常生活支援総合事業拠点を整備する民間事業者に整備費等の補助を行う。

(2) 事業期間

平成28年4月～平成29年3月

(3) 事業主体

民間事業者

3 28年度予算

(1) 予算額

113,187 千円

- ・介護サービス基盤分（県費：82,187 千円（10/10））
- ・総合事業拠点分（国費：31,000 千円（10/10））

(2) 事業内容

(ア) 平成27年度に公募し選定した小規模特別養護老人ホーム（1施設）及び看護小規模多機能型居宅介護事業所（1事業所）を整備する民間事業者（2者）に開設準備費の補助を行う。

(イ) 小規模多機能型居宅介護事業所を整備する民間事業者（1者）に整備費及び開設準備費を補助する。

(ウ) 既存の特別養護老人ホームで、多床室のプライバシー保護のための改修工事を行う施設（1施設）に工事費の補助を行う。

(エ) 介護予防給付のデイサービス及びホームヘルプサービスの移行並びに生活支援サービス拡充の受け皿である介護予防・日常生活支援総合事業として平成27年10月から開始した本市独自の支え合いサービス事業の拠点を新たに整備する団体にその施設整備費及び立ち上げに係る備品等の購入費等の補助を行う。

担当課名【高年介護課】（内線 3071）

施策体系番号 1-2-4-2、1-2-5-3

No.37	事業名	歩いて暮らすまちづくり構 想の推進	28年度 予算額	11,896 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	----------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

歩いて暮らすまちづくり構想は、歩いて暮らすことを基本とした健康あふれるまちづくりに市民誰もが参加し、健康に生活を営むことのできる、少子高齢・人口減少社会においても持続可能な新しい都市モデルの構築を目的としている。市民誰もが歩いて暮らすことを基本とした健康づくりに参画したくなるような事業を展開する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

①健康運動教室（玄さん元気教室）の普及・拡大（継続）

集落の会館等を会場に、地域住民が自主運営で行う健康運動教室「玄さん元気教室」を市内全域に拡大する。

②歩キングの推進（継続）

職場対抗歩キング選手権や歩キングキャンペーン等を通じて、市民のウォーキング人口を増やす。

③健康ポイント制度の普及・拡大（継続）

環境ポイントとの連携、小学校PTAとの協働事業等によりポイント制度を普及し、健康づくりの輪を広げる。

④健幸長寿社会を創造するスマートウエルネスシティ総合特区（継続）

健康クラウドによる健康指標の分析と、健康施策の評価・検討を行う。

(2) 事業期間

①健康運動教室（玄さん元気教室） H24年度～

②歩キングの推進 H24年度～

③健康ポイント制度の普及・拡大 H23年度～

④健幸長寿社会を創造するスマートウエルネスシティ総合特区 H23年度～

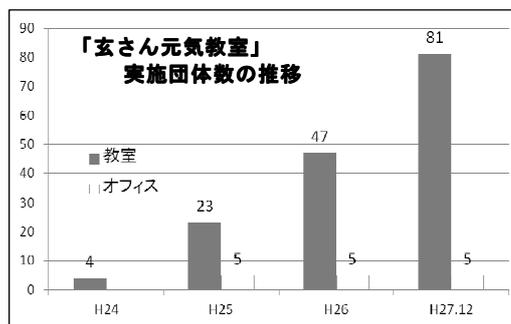
(3) 事業主体

豊岡市

3 28年度予算

(1) 予算額

11,896 千円



(2) 事業内容

①健康運動教室 年30カ所拡大し、H32年度に235カ所、2,700人の参加を目指す。

②歩キングの推進 「みんなで楽しく」を合言葉に、事業やキャンペーンを実施。

③健康ポイント制度 小学校PTA対象の「運動ポイント事業」スタート。

④スマートウエルネスシティ総合特区 健康クラウドによる分析・評価。

担当課名【健康増進課】（内線 3101）

施策体系番号 1-2-1-2

No.38 事業名 市立診療所の機材充実等	28年度 予算額	74,620 千円	新規 拡大 継続
-----------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

施設の改修・医療機器の充実を図ることにより、迅速で適切な診断・治療を行い、市民に安心・安全な医療を提供し、市民の健康を守る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

5か所の市立診療所（休日急病、森本、神鍋、高橋、資母）に必要な資機材の整備・施設の改修を行う。

(2) 事業期間

平成 28 年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 28 年度予算

(1) 予算額

74,620 千円

(2) 事業内容

- ・ 休日急病診療所（薬袋ラベル発行システム・プリンター）
- ・ 森本診療所（トイレ改修、血液検査機器、薬袋ラベル発行システム・プリンター、ストレッチャー）
- ・ 神鍋診療所（血液検査機器、聴力検査機、採血台、視力検査機放射線プロテクターほか）
- ・ 高橋診療所（屋根・内外裝修繕、トイレ改修、薬品保冷庫、X線撮影装置、超音波診断装置、自動血球計数測定装置、経皮二酸化炭素分圧モニターほか）
- ・ 資母診療所（外壁塗装、錠剤粉碎機、歩行器、ストレッチャー、視力表）

4 その他参考事項

高橋診療所は、本年 6 月から新たな医師の赴任を予定している。

担当課名【健康増進課】（内線 3101）

施策体系番号 1-2-2-2

No.39 事業名 豊岡稽古堂塾の開催	28年度 予算額	2,876 千円	新規 拡大 継続
---------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

豊岡市の将来を担う人材の育成と、地域の課題や社会的な事業の展開に対し、官民一体となって取り組める仕組みづくりを目指す。

2 事業内容

戦略的に考え、効果的に実行する力が身につく少人数制のセミナーを開催する。受講を通じて、官民の枠を超えた交流を促進する。

3 28年度予算

(1) 予算額

講師及びコーディネーター謝礼 2,450 千円
 事務局連絡調整旅費 316 千円
 資料印刷、郵便料等 110 千円 計 2,876 千円
 ※受講者負担金あり (2,500 円×10～15 回×20 人程度を想定)

(2) 事業内容

講師を招き、民間と市職員が共に学ぶセミナーを 10～15 回程度開催する。
 定員は 20 名程度、事業期間は 5 月～11 月を予定。

ビジネスに不可欠な基本スキルや、コミュニケーション能力を、受講生同士が討論・議論しながら身につける。ビジネスの新しい芽が稽古堂塾の学びから生まれ、地域課題の解決や地域経済の活性化につながっていくことを目指す。

(3) 事業主体

豊岡市

4 参考 平成 27 年度実績

- ・開催回数：16 回
- ・受講者数：23 名（民間 14 名、市職員 9 名）



担当課名【エコバレー推進課】（内線 2301）

施策体系番号 6-2-1-2

No.40	事業名	ライフスタイルの共同研究	28年度 予算額	8,769 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	--------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

「豊岡らしさ（共存共栄、自然利用、生活哲学）」を活かした「豊岡型ライフスタイル～自然に抱かれた豊岡の新しい暮らしかた～」を創造し実行することにより、環境都市「豊岡エコバレー」としての魅力をさらに高めるとともに、持続可能なまちづくりを進める。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

東北大学大学院と共同で、ライフスタイルを変革し、豊岡らしさに根ざした心豊かなライフスタイル「自然に抱かれた豊岡の新しい暮らしかた」の普及を目指す。

(2) 事業期間

平成 25 年～

(3) 事業主体

豊岡市及び東北大学大学院環境科学研究科 古川研究室

3 28 年度予算

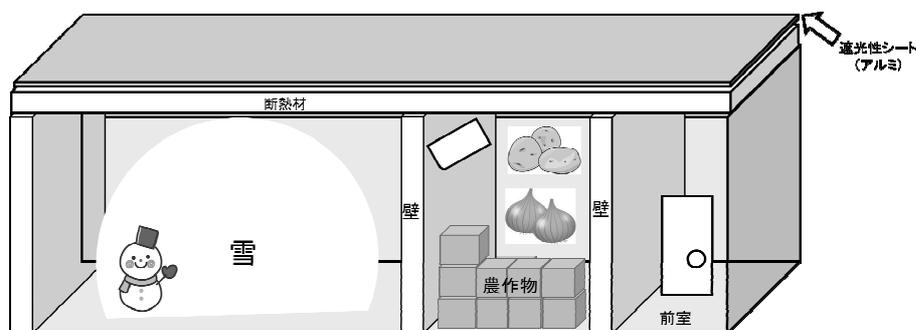
(1) 予算額

8,769 千円

(2) 事業内容

平成 25 年度に描いた「生命の循環を感じる暮らし」「豊岡の食材で集う暮らし」について、モデル地区の事例を作り、市民に豊岡型ライフスタイルの考え方を理解してもらったとともに、他の地域への展開を図る。

- ① 中筋小学校で豊岡型ライフスタイルを授業の一部に取り入れる実証実験
- ② エネルギー自給型ライフスタイルを目指したイベントの開催（中筋・神鍋）
- ③ 中筋地区における雪室実証実験
- ④ 市民向けシンポジウムの開催



〔「雪室」のイメージ図〕

担当課名【エコバレー推進課】（内線 2315）

施策体系番号 2-1-2-3